

平成 27 年 4 月 10 日

Information

公益社団法人 全日本広告連盟

〒104-0061

中央区銀座 7-4-17(電通銀座ビル 7F)

TEL. 03-3569-3566 FAX. 03-3572-5733

記者各位

第9回「全広連鈴木三郎助大賞」に新潟日報社

「防災・減災 新潟プロジェクト2014統一キャンペーン」

この度、第9回「全広連鈴木三郎助大賞」が、3月27日に開かれた同賞選考委員会にて、「防災・減災 新潟プロジェクト 2014 統一キャンペーン」を実施した(株)新潟日報社に贈賞されることが決まった。全広連加盟5広告協会5作品の応募の中から選出されたもの。

同賞は4月23日に開催される平成27年度第1回全広連理事会において正式承認され、贈賞は5月20日、金沢市で開催される第63回全広連金沢大会式典の席上行われる。贈賞理由は以下の通り。

第9回「全広連鈴木三郎助大賞」

■タイトル／「防災・減災 新潟プロジェクト2014統一キャンペーン」

表彰／(株)新潟日報社、実施／(株)新潟日報社、応募／新潟広告協会

2014年は、新潟地震から50年、新潟焼山火山災害から40年、中越地震、7.13水害から10年という大型自然災害の節目の年であることから、北陸地方整備局、新潟県、中越防災安全推進機構、新潟日報社を中心に、県民の防災・減災の意識を高めるため統一キャンペーンを実施。編集局が大型特集や連載を通年で展開する一方で、広告部は各災害の周年事業に個別に関わりながら、同実行委員会全体としての広報「あした・あおぞら教室」と独自企画「にいがた子どもサミット～防災かべ新聞コンクール」の両輪でキャンペーンを1年間継続した。

「あした・あおぞら教室」では、新潟県知事らによる鼎談や、大型自然災害の節目を迎える県内の被災各地リポートを掲載。プロジェクトパネル展やキャンペーン映像の放送、新潟日報社ホームページ内に防災・減災特設サイトを開設するなど、積極的に情報を発信した。「防災かべ新聞コンクール」では、新潟県が小中学校向けに展開している「防災教育事業」と連携し、「子供らしい視点で考える災害から地域を守る取り組み」を募集。132校755点の作品が寄せられ、コンクール優秀校の子供たちによる「にいがた子どもサミット（防災会議）」を開催、防災への関心の輪をさらに広げた。

自然災害で得られた教訓をこれからの防災に活かすため、新聞社がメディアとしての強い使命感のもと、様々な取り組みを展開し、幅広い年齢層へのメッセージの訴求に成功した点が高く評価された。

【全広連鈴木三郎助大賞の趣旨】

全広連第3代理事長鈴木三郎助氏の寄付金を基に平成19年度より制定された顕彰。全広連が加盟各地広告協会会員社の実施した斬新な広告企画をはじめ、大きな成果を挙げた広告キャンペーンなどを顕彰し、広告活動のより一層の発展を図ることを目的として「全広連鈴木三郎助大賞」を贈る。また、広告活動の中でその業績ならびに活動を特に認めた場合は、「選考委員会特別賞」を贈呈する。

※当リリースに関する問い合わせは全日本広告連盟（☎03-3569-3566）まで。